

進路だより

第3号

2021. 12. 22
福井大学教育学部附属特別支援学校
進路指導部



今回は、高等部現場実習、現場実習に関わる行事（壮行会、報告会、校外学習）中学部の進路指導（実習見学、体験実習）の様子を中心にお伝えします。

高等部現場実習について(10月25日～11月12日)

昨年度は新型コロナウイルスの影響によって現場実習の実施の仕方を色々と変更しましたが、今年度は、昨年度の省察を経て、高等部1年生は1週間の学校実習後の2週間、高等部2、3年生は3週間という形で現場実習をおこないました。簡単にではございますが、ご紹介させていただきます。今年の高等部生徒の実習先は以下のとおりです。*事業所は様々な事業を行っていますが、実習は事業形態が決まっています。就労するときに決めていきます。

| 実習先 | 所在地 | 事業形態 |
|---------------------------|-----|-------------------|
| 大津屋 | 福井市 | 一般就労 |
| 福井大学業務支援室 | 福井市 | 一般就労 |
| 社会福祉法人六条厚生会 えばた工房 | 福井市 | 就労継続支援A型、就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人六条厚生会 松本ファクトリー | 福井市 | 就労継続支援A型、就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人足羽福祉会 足羽ワークセンター | 福井市 | 就労移行支援、就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人足羽福祉会 足羽サポートセンター | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人あおい福祉会 | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人虹の会 うめのき | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人虹の会 虹の会福祉作業所 | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人竹伸会 コスモス | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 株式会社 きらく | 福井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人足羽福祉会 スマイル | 福井市 | 生活介護 |
| 西島木材 | 坂井市 | 一般就労 |
| ココス 春江アミ店 | 坂井市 | 一般就労 |
| 社会福祉法人慶長会 つづきの家 | 坂井市 | 就労移行支援、就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人しいのみ共生会 はんだか就労支援事業所 | 坂井市 | 就労継続支援B型 |
| ピアファーム 三国 | 坂井市 | 就労継続支援B型 |
| NPO法人スマイルネットワークさかいスマイル農園 | 坂井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人ハスの実の家ハスの実パン工房 | 坂井市 | 就労継続支援B型 |
| 社会福祉法人ハスの実の家ハスの実わくわくセンター | 坂井市 | 就労継続支援B型、生活介護 |
| 社会福祉法人光道園 フ・クレール | 越前町 | 就労移行支援、就労継続支援B型 |

学校実習



(マスク封入作業)



(ナカヤ100均作業)



(面接練習)

現場実習



高等部1年生は10月25日(月)～29日(金)の1週間は学校実習にて、事業所から請け負った仕事(つづきの家:マスク封入、福井精米:飴、ちらし袋詰め、はがきの宛名書き、ナカヤ化学:100均商品作業)や、学校から依頼された仕事に取り組んだり、キャリア学習(面接練習や履歴書記入、自分に関すること:住所、保護者の名前など、自己理解:自分の好きな仕事とは)に取り組んだりしました。その後11月1日(月)～11月12日(金)の2週間は現場実習を行ないました。高等部2、3年生については昨年度の「長い実習になると、様々な作業種を任せてもらえたり、事業所にも生徒の特性をつかんでもらえることで、少し挑戦的な内容にも触れさせてもらえたりする」という反省も踏まえ、10月25日(月)～11月12日(金)の3週間現場実習を行ないました。

1、2年生共に、立派に2週間の実習を終えました。通勤も含め、2週間やりきったことに達成感を味わえた生徒、将来の進路先の候補に出会えた生徒、自分の課題が分かり、今後の自分の進路先や頑張るべきことが明確になった生徒など、それぞれが充実した機会となった様子でした。学校外の場所で、実習を行うことは生徒の主体的な学びを引き出すよい機会となります。この学びを次につなげていきたいです。

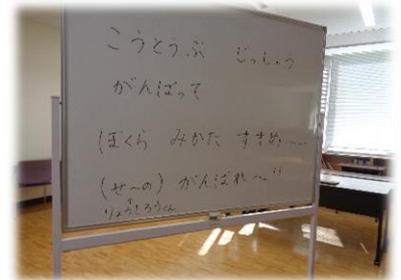
3年生は4月からの生活を見据えた実習となりました。通勤、仕事への姿勢、ビジネスマナー的なことなど集大成としてこれまで付けてきた力を発揮できており、「さすが3年生」と感心させられました。見つかった課題については、もう残りわずかの学校生活ですが、少しでも乗り越えられるよう、あるいは乗り越えるためにどんな支援が必要かを一緒に探っていきたいと思います。1名が就労アセスメントを実施しました。卒業後直接B型に進む生徒は就労アセスメントを実施する必要があります。4名の生徒についてはすでに春の現場実習で就労アセスメントを実施済みです。就労アセスメント評価会議では、本人の持つ強みや弱み、本人に合う事業形態について、支援者が集まって評価をくださいます。本人にとって進路が適当であるか、今後課題としていくべきことは何かを再確認できます。今回受けた生徒は卒業後直接B型に進む生徒ではありませんが、支援者や本人が強みや弱みを共通理解し、4月から、同じ方向をむいてスムーズにスタートが切れるように就労アセスメントを実施しました。一人一人の先を見据えた

り、本人保護者のニーズを考えたりしてよりよい進路指導のための一つの手立てととらえ、就労アセスメントを今後も有効活用していきたいです。

一般就労か福祉的就労か（A型、B型、就労移行）、B型か生活介護かの選択で悩む生徒がいます。それぞれで仕事の難易度、求められる力、給料（工賃）などが異なりますが、進路選択において最も大切なことは「本人が生き生きとした社会生活を送る」ことです。そのためにはその場所で働くことにやりがいを感じることに、心を安定させて生活できること、本人の楽しみが保障されること、本人の望む暮らしの実現ができること（なりたい自分に近づく）など様々な要素を組み合わせる必要があります。給料はいいが「やりがいを感じない」、「毎日に不安を感じて生活する」ということもあると思います。逆に給料は少ないけれど、「仕事にやりがいを持って楽しい」、「休日には自分の楽しみを満喫できる」ということもあります。迷ったときには、この選択で本人は生き生きとした社会生活を送ることができるのだろうか？ということイメージして進路選択していくことが大切なのだろうと思います。生徒本人はもちろん、生徒に関わる支援者も含めみんなで悩み、決めていけたらと考えています。保護者の皆さま、今後ともよろしくお願ひいたします。

現場実習壮行会(10月22日)

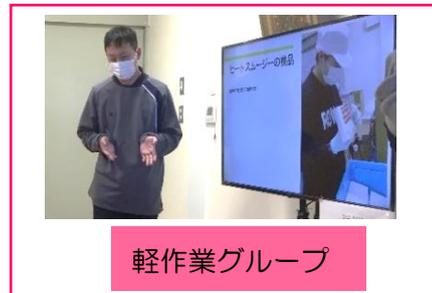
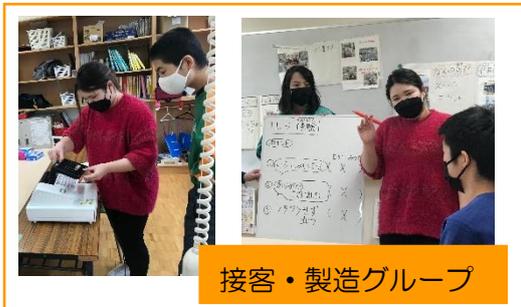
昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった現場実習壮行会を、今年は10月22日（金）にZOOMで行いました。まずは高等部生徒全員が1人ずつ決意表明ということで、実習先や頑張りたいことを一言ずつ発表しました。2・3年生は落ち着いた様子で、1年生は初めての实習ということで緊張している様子でしたが、「わからないことがあったら職員さんに聞きます」「報告をきちんとします」などそれぞれが実習に向けて堂々と目標を言っていました。続いて、中学部からの激励ということで「紅蓮華」の曲を楽器演奏し、それに合わせた替え歌をうたいました。そして最後に「頑張ってねー！」と、大きな声でエールを送りました。そのあとは小学部の児童からも「実習頑張って！」と、かわいい応援メッセージがありました。そして最後に高等部の代表生徒からは「3週間、最後まで頑張ってきます！！！」と力強い返事があり、全校一体で心温まる壮行会となりました。



高等部実習報告会

生活1班

今年は4つの職種に分かれて報告会を行いました。中学部の後輩たちに『実習ってどんなこと?働いてどんなこと?』を分かりやすく伝えるために仕事内容を動画や写真で紹介するだけでなく、「クイズがあったら楽しいんじゃないか」「体験コーナーがあったらいいんじゃないか」「実物を見せたら分かりやすいんじゃないか」「就労形態の説明をしたい」など意見を出し合いながら準備をしてきました。また、実習先を選んだ理由や、進路を決めていくうえで大切なことを自分たちの言葉で伝えることもできました。報告会前には、高等部生徒がお互いの発表を聞きながらより分かりやすい発表になるようにアドバイスをし合い、万全に準備をして当日を迎えました。コロナ禍のため、中学部の後輩の前で面と向かって発表をする機会が減ってきていたので、当日はお互いに緊張していましたが、一生懸命伝えようとする気持ちと一生懸命聞こうとする気持ちが十分に伝わってくる報告会になりました。



生活3班

実習報告会は、第1部「実習報告とクイズ」第2部「仕事体験」を行いました。高等部の生徒達は、「先輩として、中学部の後輩達に教えたい」と張り切って練習や準備をしてきました。実習報告では3つのグループに分かれて、仕事の写真や動画を見せながら好きな仕事や頑張ったこと、休憩時間の過ごし方、お昼ごはんのことなどを紹介しました。実習クイズでは、自分のした仕事にちなんで「何のフィルムをかけたでしょう」という問題や自分でお弁当を作っていた生徒からの「実習のお弁当は誰が作ったでしょう」という問題に正解しようと一生懸命答えを考えていました。中学部の生徒の中には、自分が体験で行った実習先やこれから自分が行く実習先の話になると「ぼくも同じ仕事をしたよ。」「ちょっと形は違うけど、よく似た仕事をしたよ。」などと、自分の体験と比較しながら聞く姿も見られました。

第2部の仕事体験では、「墨汁キャップしめ」「牛乳パック切り・パックはがし」「袋詰め」など現場実習や体験実習で行った仕事を高等部の生徒が中学部の生徒に教えました。中学部の生徒は、初めてする仕事にちょっぴり緊張気味でしたが、慣れてくると、笑顔で「いっぱいできたよ。」「まだまだできるよ。」とうれしそうに取り組む姿が見られました。体験しながら好きな仕事選び、最後に、一番好きな仕事を選んで発表しました。

高等部の生徒たちは実習の頑張りをたくさんの人に聞いてもらい、拍手をもらったことで自信をつけることができました。次の日、中学部の生徒達からもらったお礼のメッセージをうれしそうに読んでいました。



中学部実習見学会

月グループ

月グループは、福井市川合鷺塚町にある「就労支援センターあおい」と坂井町にある「スマイル農園」へ見学に行きました。

「就労支援センターあおい」では、作業中の高等部の先輩が、ネジを4本数えて袋に入れる様子を見せてもらいました。周囲の状況に合わせた声の大きさと、ネジを数える先輩の様子を、真剣に見つめる中学部生徒の姿が印象的でした。見学の最後には、パン工房でパンやクッキーを買いました。自分の欲しいものを選び、1人ずつ支払いもできました。

「スマイル農園」では、金属部品の検品作業や箱折りをを見せてもらいました。職員の方が、見学の途中で、作業で使う金属や道具を、実際に触れさせてくださったので、生徒たちもその感触を知ることができました。また、金属部品の組み立てに使う電動ドライバーにも触れさせてもらい、その音や動きに驚いたり、楽しんだりしていました。

どちらの事業所でも、集中して作業している先輩や利用者の方の雰囲気を感じ取り、静かに見学する姿が立派でした。



星グループ

星グループは、福井大学にある「業務支援室」と福井市米松にある「大津屋（オレボステーション）」へ見学に行きました。

「業務支援室」では、高等部の先輩がデータ入力や古本の仕分け作業、構内の落ち葉清掃などを行っている様子を見学し、通勤方法や作業で気を付けていることなどの質問をしました。高等部の先輩だけでなく、本校で勤務していた先生や卒業生の先輩も業務内容について話をしてくれたので、より気軽に質問することができていたようでした。

「大津屋」では、店内にある販売コーナー、お惣菜と飲食のコーナー、キッチンコーナーを見学させてもらいました。職員さんから各コーナーで扱っている商品や調理内容についてのお話を聞き、勤務時間や仕事の大変さ、仕事での喜びなどについて質問をしました。

どちらの見学先でも、メモを取りながら職員さんや先輩の話を熱心に聞き、職場での仕事内容や働く上で大切なことなどについて理解を深めようとする姿が見られました。



空グループ

空グループは、あわら市市姫にある「ハスの実パン工房」と福井市松本にある「松本ファクトリー」へ見学にいきました。

「ハスの実パン工房」には本校の卒業生がおり、その方に“仕事の時間”や“休憩時間の過ごし方”また“お昼ご飯について”など、たくさんの質問をしてきました。そのあとはパンの買い物。先輩が開発したパンや焼き立てのパンなど、たくさんのパンが並んでおり、選ぶのを吟味している様子の生徒たちでしたが、それぞれの好きなパンを購入し、とても嬉しそうにバスに乗り込む姿がありました。

「松本ファクトリー」では、給食の配膳の仕事や、掃除・洗濯の仕事、または金属の部品を検品する仕事など、たくさんの部屋でそれぞれの仕事をする様子を見てきました。実習を頑張っている高等部の生徒を見て「〇〇さん、頑張っているね」と笑顔で話す生徒の姿も見ることができました。

短い時間ではありましたが、2・3年生にとっては現場実習に向けての目標を決める機会となり、1年生にとっては仕事について少しずつイメージを持つことができた見学会となりました。



現場実習見学

小学部3組 校外学習

11月12日（金）に小学部3組が、高等部現場実習先の「コスモス」と「あおい」の2つの事業所へ見学に行きました。「高等部のお兄さんやお姉さんは、どんな仕事をしているのかな。」「がんばっているんだろうな。」と想像しながら、質問することを考えました。きれいな事業所内を案内していただき、実際に働いている姿をそっと後ろから見学しました。卒業生の方もたくさん働いていて、丁寧に質問に答えてくれました。最初はどきどきしながらの質問している児童も、慣れてくると自分から話すようになりました。実際に働いている高等部の先輩の姿を見て、仕事ってこんなことをするのかというイメージがもてた児童もいました。自分にもできそうな仕事の内容もあったようで、興味深く作業を見つめていました。どちらの事業所でもおいしいパンやクッキーの買い物ができ、楽しい見学になりました。



みんながんばっているなあ。
お仕事 上手だな。

事業所情報

Omusubi (就労継続支援B型)



令和3年9月に開所した新しい事業所です。

産業廃棄物の分別を主たる作業として扱っています。隣に相談支援事業所も併設されています。

所在地: 〒919-0449 坂井市春江町中筋34-40

電話番号: 0776-50-3691

開所日: 月～金曜日(土、日、祝日はお休み)

定員: 20名、現在6名 40代の方が多い、男性が多い R4年度新卒の利用者が2名入る予定

自宅から通っている方が多い。グループホームから通われている方もいる。

今後、月に1回程度、レクリエーション活動を入れていたら・・・とのことでした。

1日の流れ

| | |
|-------------|-----------------------|
| 9:00～10:00 | 作業 |
| 10:00～10:05 | 休憩 |
| 10:05～11:00 | 作業 |
| 11:00～11:05 | 休憩 |
| 11:05～11:50 | 作業 |
| 11:50～12:00 | 昼食準備 |
| 12:00～13:00 | 昼休み |
| 13:00～14:00 | 作業 |
| 14:00～14:05 | 休憩 |
| 14:05～15:00 | 作業 |
| 15:00～15:05 | 休憩 |
| 15:05～15:30 | 作業 |
| 15:30～16:00 | 片付け・清掃 弁当は無料でとることができる |



仕事内容

電線分解、分別の作業

パソコンなどのリサイクル作業

アクリル板の保護膜(ビニールや紙)をとる作業 産廃業者への納品や回収についても、得意な方がいれば・・・という感じてした。施設外就労もあり(近くの産廃業者での作業)施設外で作業した方は工賃が少しアップする。

工賃

時給180円 1か月19,000円程度

その他

利用時間は都合に合わせてくれます。(1時間でも2時間でも利用可能)

送迎あり 片道30分程度の範囲まで(応相談)

一般就労へのステップアップも考えてくださっており、5S(躰(挨拶)、整理、整頓、清潔、掃除)を事業所内に掲げ、仕事の力を高めている。作業に必要なエプロン、手袋、靴等は支給できる。

事業所のうり

納期がない仕事なので、ゆったりと仕事ができる。

SDGs(持続可能な開発目標)が注目を集めているが、事業所の仕事で社会貢献し自信をもって仕事ができる。

